

評価 担当者	課名	氏名	内線
	農林振興課 農林基盤整備室	藤澤 清巳	201

コード	VII-20-50	施策名	多様で健全な森林への誘導
施策の 方針	環境にやさしい資源が活かされ循環するまちをつくる		
まちづく りの 方針	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)		
施策の 目的	森林が本来持つ多面的機能の維持・増進、森林資源の有効活用による循環型林業を図りながら森林を地域で守り、育て、次世代に伝えていくため、健全で豊かな森林づくりを図ります。		
施策の 内容	市有林や民有林の森林経営を企業と協働して実施します。森林の果たす重要な役割について、森林環境教育を通して広く学べる機会をつくります。		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					H31目標値 上段：当初 下段：現在	
			単位	H26	H27	H28	H29		H30
	企業と協働して森林管理を行ってもらう森林面積	企業との経営委託面積	目標	ha	100	200	400	530	500
			実績	50	130	330	430	630	
			達成率	%	-	130.0%	165.0%	107.5%	
	森林の多面的機能の維持・増進のための森林整備面積	森林整備を実施した面積	目標	ha	80	160	240	320	400
			実績	80	110	199	220		
			達成率	%	-	137.5%	124.4%	91.7%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					

指標の分析

森林経営計画による森林整備のための合意形成は、目標の100haを達成したが、市有林については、台風18号の影響により、間伐作業ができず、下刈りのみとなった。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	
市民意識調査 結果 (H29調査)	検討領域	2.08	1.22	
市民意識調査 結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。</p> <p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「検討領域」に位置しているが、森林が持つ多面的機能の維持・増進のためには、更なる林業再生に向けた取り組みが必要である。</p>			

<次年度以降の課題>

平成30年度以降 の課題	森林整備に必要な予算確保と素材生産者の人手が不足しているため、今後、人員確保に向けた取り組みが必要がある。
-----------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1 森林整備地域活動支援交付金	モデル地域を指定し水の保水能力を増進させるよう計画を作成する	農林基盤整備室	○	5,152	4,700	4,700	継続	○	
2 市有林整備事業	市有林整備	農林基盤整備室	○	20,822	3,613	21,963	継続	○	
3 水源涵養間伐促進路網整備事業	モデル地区内路網整備補助	農林基盤整備室		1,500	—	—	完了		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				27,474	8,313	26,663			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	森林木材の資源活用のための「臼杵市森林整備計画」に基づいた森林整備及び林業再生に向けた取り組みを推進するとともに、「カスケートセンター」の事業計画を策定し、運搬コストなどを削減し、山主の収益向上や森林整備の維持増進を図る必要がある。	課長評価
概ね順調		目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

進捗状況		内部評価
-		-

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--